

水道事業

公営企業の決算報告

事業概要

平成18年度の主な事業は、上野上水道第8次拡張事業計画に基づき、古山および神戸地内で第3配水地築造工事、花之木地内で送水管敷設工事などを行いました。

給水区域内配水施設事業は、上野上水道配水管更新事業計画に基づく鋳鉄管敷設替工事を上野農人町、上野鉄砲町地内など、配水管敷設替工事を阿山上水道エリアは石川地内、伊賀上水道エリアでは小杉地内で行いました。また、緊急時給水拠点確保事業は、山畑地内で緊急遮断弁設置工事、高度浄水施設整備事業は丸柱浄水場で活性炭設備設置工事、小田浄水場でろ過機設置工事を行いました。

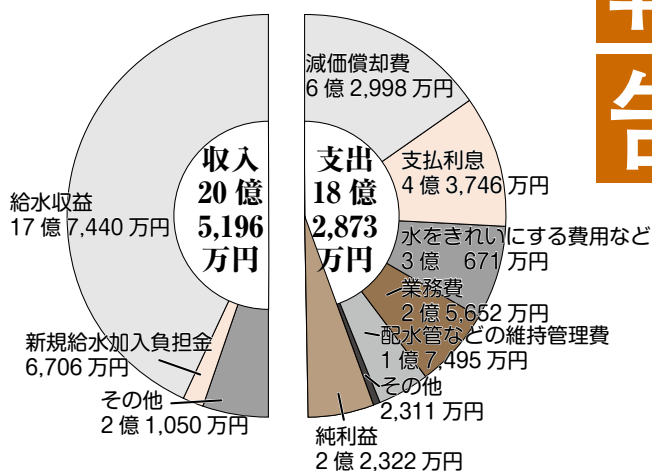
経営状況

平成18年度末における給水戸数は29,428戸、年間総配水量は11,939,598m³でした。

事業収益は20億5,196万1,345円、事業費用は18億2,873万6,028円で収益的収支2億2,322万5,317円の純利益となり、前年度繰越利益剰余金1億2,142万7,038円を合わせ平成19年3月31日の未処分利益剰余金を3億4,465万2,355円としています。

平成18年度の給水状況

計画給水人口(人)	91,000
現在給水戸数(戸)	29,428
現在給水人口(人)	78,330
取水能力(m ³ /日)	44,620
年間総配水量A(m ³)	11,939,598
1日最大配水量(m ³)	38,685
1日平均配水量(m ³)	32,711
1人1日平均配水量(ℓ)	417
有収水量B(m ³)	10,207,428
1人1日平均有収水量(ℓ)	357
有収率B/A(%)	85.5



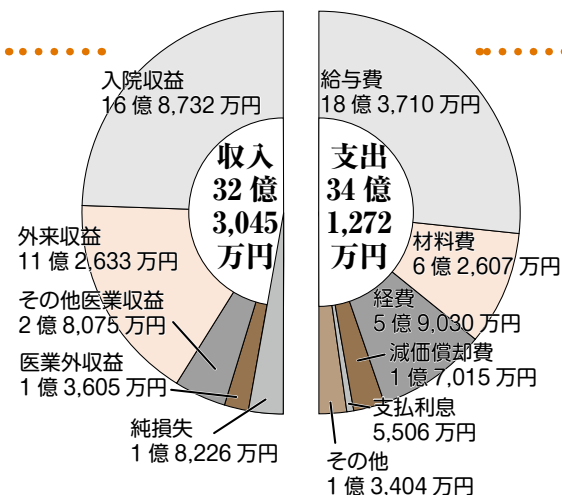
水道事業の決算 (消費税および地方消費税を含む)

(単位：円)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
水道事業収益	2,149,363,000	2,145,404,657		減収額 3,958,343
水道事業費用	1,981,252,000	1,906,810,098	12,180,000	不用額 74,441,902
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
資本的収入	1,254,037,000	1,043,380,321		減収額 210,656,679
資本的支出	1,755,117,100	1,500,202,518	201,651,600	不用額 254,914,582

【問い合わせ】

水道部水道総務課
☎24-9861



事業概要

病院の経営は引き続き厳しい状況となっておりますが、伊賀市立上野総合市民病院は伊賀地域における公的病院として高度の診療機能を備え、住民の健康保持を図るため病院の理念と基本方針を定め総合的な医療の提供を行い、地域中核病院としての使命達成と、経営の健全化に取り組んでいます。

平成18年度は、本館6階大規模改造工事などを行い、マルチカラーレーザー光凝固装置、透析患者監視装置5台、ビデオシステム(手術室用)、超音波検査機器などの医療機器を購入し、施設の整備に努めました。

病院事業の決算 (消費税及び地方消費税を含む)

(単位：円)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
病院事業収益	3,479,219,000	3,238,972,837		減収額 △240,246,163
病院事業費用	3,480,584,000	3,411,911,238	10,000,000	不用額 58,672,762
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
資本的収入	346,619,000	340,119,141		減収額 △6,499,859
資本的支出	459,462,650	450,461,895	0	不用額 9,000,755

【問い合わせ】

上野総合市民病院
庶務課
☎24-1111

病院事業

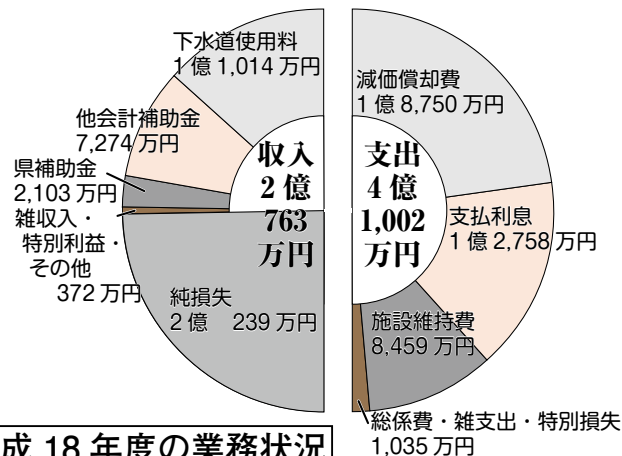
事業の概要

伊賀下水道事業では伊賀支所管内における特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業の推進および施設維持管理等をおこなっています。希望ヶ丘処理区の供用開始を平成19年度内に予定しており、平成18年度は主に希望ヶ丘処理区終末処理場建設工事（土木・建築・水処理設備・電気設備工事）、管渠詳細設計業務、幹線管路施設工事等を行いました。両事業ともに継続して水洗化の啓発、促進に取り組んでいます。平成19年3月31日をもって伊賀下水道事業会計は公営企業会計を終了し、平成19年4月1日から特別会計に変更しました。柘植処理区、西部処理区、希望ヶ丘処理区は伊賀市公共下水道事業特別会計に、壬生野東部処理区は伊賀市農業集落排水事業特別会計にそれぞれ編入し、事業を継続しています。

経営状況

水洗化の状況は、西部処理区が供用開始後3年目となり水洗化人口、水洗化率ともに増えていきます。決算の状況は、総収益2億762万7,320円、総費用4億1,001万7,887円で、2億239万567円の純損失を生じ、未処理欠損金（累積赤字）は4億5,810万6,741円となりました。今後の下水道事業は引き続き財政面で非常に厳しい状況が予測されます。維持管理費等諸経費の削減、見直しを図り、健全な経営に努めます。

伊賀下水道事業



区分	単位	18年度	17年度	比較増減
行政区域内人口 (A)	人	10,526	10,648	△ 122
供用開始区域内人口 (B)	人	8,544	8,618	△ 74
水洗化人口 (C)	人	5,786	5,310	476
普及率 (B/A)	%	81.2	80.9	0.3
水洗化率 (C/B)	%	67.7	61.6	6.1
計画処理区域面積 (D)	ha	379.3	379.3	0.0
処理区域面積 (E)	ha	308.7	308.7	0.0
整備率 (E/D)	%	81.4	81.4	0.0
排水戸数	戸	1,892	1,739	153
一般家庭	戸	1,720	1,590	130
事業所	戸	106	85	21
公共施設	戸	66	64	2

伊賀下水道事業の決算 (消費税および地方消費税を含む) (単位:円)

収益的収支	予算額	決算額	差引
下水道事業収益	220,648,000	222,483,886	増収額 1,835,886
下水道事業費用	424,403,000	416,586,456	不用額 7,816,544
資本的収支	予算額	決算額	差引
資本的収入	1,183,452,000	964,570,600	減収額 218,881,400
資本的支出	1,353,509,000	1,128,118,827	不用額 225,390,173

【問い合わせ】

伊賀支所下水道室
☎45-9109



各科利用状況 (単位:人)

区分	外来	入院
内科	51,036	32,385
循環器科	5,841	3,538
小児科	3,789	139
外科	6,435	6,796
整形外科	26,429	12,760
脳神経外科	981	0
神経内科	1,162	0
婦人科	4,224	54
眼科	7,323	476
耳鼻咽喉科	4,659	0
皮膚科	9,085	839
泌尿器科	9,576	3,324
放射線科	1,256	0
人間ドック	0	244
合計	131,796	60,555

経営状況

病院利用状況は、入院患者が延べ60,555人（1日平均166人）、外来患者は延べ131,796人（1日平均538人）となりました。

決算の状況は、事業収益32億3,045万7,055円、事業費用34億1,272万0,028円で収支1億8,226万2,973円の純損失を生じ、未処理欠損金（累積赤字）が増加となりました。

今後も一層の効率的経営を進めるとともに、患者サービスの向上に努め、市民の皆さんから信頼される公立医療機関として、その役割を果たすべく努力をしていきます。